

ドリスカッ！ at Campus

北部農林高等学校

2023 年度 実施報告書



特定非営利活動法人ドリスカッ！

## 目次

1. 開催趣旨 .....	1
2. 全体概要 .....	1
(1)スケジュール .....	1
(2)体制図 .....	1
3. 事前学習 .....	2
(1)事前説明会 ドリスカッ！実行委員の募集 .....	2
(2)事前学習 プロ講師による実行委員指導 .....	2
4. 登壇講師一覧 .....	4
(1)ドリスカッ！で登壇した講師の職業や所属一覧 .....	4
5. メインイベント .....	5
(1)概要 .....	5
① 第1部 ピッチイベント .....	5
② 第2部 グループワーク .....	5
(2)生徒実行委員の様子、全体写真 .....	6
6. アンケート .....	7
(1)生徒アンケート .....	7
(2)アンケート記述 .....	9
8. 総括 .....	10

## 1. 開催趣旨

子ども達の心に“夢”という炎を灯す夢点火プロジェクト「ドリスカッ！」は、体験・体感型のキャリア教育イベントとして、2017年度より毎年実施しており、今年度で7年目を迎えた。

このイベントでは、人生には多くの選択肢があることを生徒たちに知ってもらい、自分自身の望む未来を叶えるための「突破力」を身に付け、早期のキャリアビジョンの形成に繋げることを目的としている。さらに事前・事後学習やイベント当日の運営など、生徒と一体となった取り組みを行うことで、単発のイベント効果に留まらない訴求効果の高い内容を目指している。

本イベントは2部構成とし、第1部の各講師による自己紹介セッションでは、普段の仕事姿と立ち振舞いを再現しつつ登壇していただき、第2部で話す概要や自身の特技などを披露する。また音響や照明にこだわったエンターテインメント性の高い舞台装飾により、カッコいい大人を演出し、生徒達の五感を刺激することで、講師の人となりへの関心を高めることを狙いとしている。

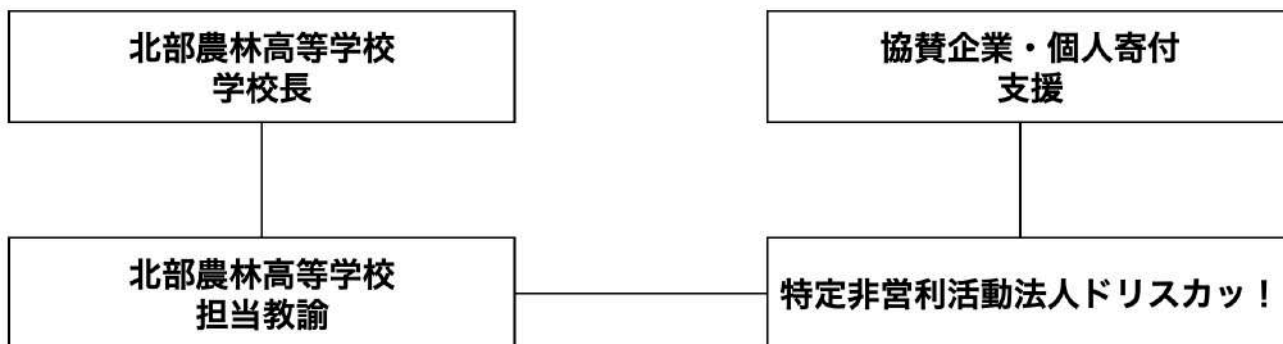
第2部では、講師ごとに分かれてグループワークを行い、講師と生徒が直接対話できる場とし、普段関ることが少ない大人の話聞くことで、「将来どうありたいか」「どう生きるのか」を自らに問いかけ、生きること・働くことの意義を見つけるキッカケとすることを目標とした。

## 2. 全体概要

### (1)スケジュール

日程	実施項目
2023年12月19日（火）	事前説明会
2024年1月16日（火）	第2回事前学習（ポスター・写真・総合司会）
2024年3月15日（金）	ドリスカッ！ at Campus 北部農林高等学校

### (2)体制図



### 3. 事前学習

#### (1)事前説明会 ドリスカッ！実行委員の募集

日時:2023年12月19日(火) 14:55~15:40

場所:北部農林高校 体育館

講師:ドリスカッ！事務局 小野間 昌和

内容:対象学年の生徒と教員向けに、ドリスカッ！の概要説明と趣旨や実施意図を伝え実行委員の募集を行った。



#### (2)事前学習 プロ講師による実行委員指導

日時:2024年1月16日(火) 14:00~15:00

場所:各教室

講師:増田千尋(ポスター)、仲宗根まこと(写真)、セイヤー麻美(総合司会)

内容:生徒が主体となって校内告知用のポスター作成を行った。プロのデザイナー講師による指導のもと、キャッチコピーの考案と画像の選定・デザインをして1枚のポスターデザインを作成した。写真と総合司会の実行委員は本番に向けての練習と役割について学んだ。





# 第2回ドリスカッ! at Campus 沖縄県立北部農林高等学校

DREAMER'S  
SOUPCANS

自らやるからおもしろい  
ひらけ新時代

あなたを灯す夢点火プロジェクトとして子ども達の心に"夢"という炎を灯す

体験・体感型のキャリア教育イベント



あなたが育てる自分の色、未知の世界へ走り出そう!

You can do it ★

令和6年3月15日(金)

5-6校時 13:35 - 15:15

会場 / 北部農林高等学校 体育館

様々な業種で働く社会人から多様な人生経験や助言を直接聞くことで、見識や知識を広げ、生徒が具体的なキャリアモデルを構築するきっかけとする。

- 第一部 講師によるプレゼンテーション  
様々な大人を知ろう
- 第二部 グループワーク 大人へ直接質問しよう

主催：沖縄県立北部農林高等学校  
運営：ドリスカッ! 生徒実行委員

協力：株式会社アールディ・フィールズ沖縄、株式会社おきなわフィナンシャルグループ、株式会社レキオスホールディングス、ブルームーンパートナーズ株式会社、他30社



# 4. 登壇講師一覧

## (1) ドリスカッ！で登壇した講師の職業や所属一覧

※各講師の所属やメッセージを記載し、生徒たちはこれらの情報から興味のある講師を選定した。

"ドリスカッ！" at Campus 北部農林高校							
<small>【16歳】かつこい大人の講演会も大変楽しみです！                  皆さんが知らない仕事をもっとのびるチャンス！様々な業種の社会人が皆さんに会いに来ます！                  『特別発表！ついでにおみやげ』                  『夢（ドリーム）を語るカッパい大人とダンスカッパいして舞の甲のモヤッとしたものをスカッ！とさせる。』体験イベントです！             </small>							
No.	講師写真	氏名	プロフィール	所属・職業	メッセージ	所属	
1		久高 玲蘭 (OG)	クダカ レイラン	ダイエットサロンれいらん	「沖縄の女性一人でも多く健康的にキレイい」を理念とした、ダイエット専門サロンを経営。生活習慣病のリスクが高い沖縄の女性を健康に導くため、お客様一人一人に合わせたダイエットアドバイスを行います。	自分の人生を自分の理想通りにするには、自分の行動や選択でかかると考えます。興味のあること、チャレンジして見たいものはチャレンジして、失敗も成功も沢山学生のうちに経験してください。必ずあなたの将来に役に立ちます！	なし
2		笠原 康次郎	ナミサト ヤスジロウ	農業生産法人株式会社アセローラフレッシュ	単産アセローラの生産～加工～販売の6次産業を推進している会社です。果汁100%のアセローラジュースを中心に、全国に当地おやつランキンググランプリを受賞したアセローラプロセス種々な商品があります。	高校生の時の自分が、今の私の私(35歳)を全く想像できていませんでした。あまり大きな事はお伝えできないと思いますが、自身が一生懸命やっていた結果、様々な経験させて頂き、今の自分がいます。そんな事を皆様にお伝えできたらと思います。	電源プロジェクトスクリーン
3		吉本 浩史	ヨシモト ヒロフミ	うちな～ホームステイゆしゆし	恩納村真栄田町の近くにある自宅で、「添削サービス作り」や「沖縄そば作り」、「風の生き物観察」などの体験プログラムや、我が家での「民泊」を通して、沖縄の文化や自然について「伝える」仕事をしています。	やりたことが見つからなければ、人に会って話を聞くことか！やりたことが見つかったら即行動！好きな事を仕事に出来るかと最高に幸せですよ！	なし
4		小和口 幸喜	コウグチ ハルキ	株式会社レキオス	賃貸住宅、事業用向け住宅、複合型商業ビル、ホテル等の企画、設計、建築、販売、コンサルティング、不動産の売買、総務相談業務をしております。	自分の弱みは周りから見ると強みです。皆様に少しでも実行があれば嬉しいです。宜しくお願いします。	なし
5		澤崎 千晶	タクシ チアキ	医療法人タビック宮里病院看護師	回復期リハビリテーション病棟の看護師として、急性期病院やクリニックからの紹介で「胸痛管理疾患」や「脳卒中」などで入院してきた患者さんが日常生活に復帰できるように医師や介護福祉士、セラピストと協力してリハビリや治療を行っています。	仕事＝生活のため！と考えるのはもったいない！ 「将来の夢」や「やりたい自分」をイメージした事はありますか？ 仕事は、夢ややりたい自分を実現するための手段としてとても重要となります。 高校生活は、それを実現するための大切なスタートラインとなるので、将来の自分をイメージしながら頑張ってください。	電源プロジェクトスクリーン
6		高岡 剛 (OB)	トウマ ツヨシ	医療法人タビック宮里病院介護福祉士	医療従事者の介護福祉士として急性期治療を終え、引き続き医療的ケアや病院での療養を必要とする方の治療、日常的なケアを医師、看護師、セラピストと共にこなしています。	引込み思案だった私は高校時代に色々な事にチャレンジする機会を貰って、個性性を身につける事ができました。高校時代のチャレンジは成功も失敗もみなさんの今後の人生の糧になるはずなんです。迷ったら前向きにチャレンジし、高校生活を楽しんでください。	電源プロジェクトスクリーン
7		理良 朝堂 (OB)	ヤラ トモヨリ	琉球大学・技術職員	琉球大学の農場にて畜舎や共同山車、牧草に関する教育・研究の支援をしています。また、昨年10日より大学内で新組織がスタートしたため、その組織の管理職としてマネジメント業務に取り組んでいます。	高校を卒業して20年以上経ちますが、よくよく考えてみると、高校生活で得た経験が、現在の私の指針に繋がっているように思います。生徒の皆さんにとっても、高校生活での経験が将来の指針になると思います。充実した高校生活を送ることを願っています。	電源プロジェクトスクリーン
8		二田水 晶	ニタミズ ショウ	株式会社ゼルバ	宮野瑞市を中心に沖縄県内で小学生を対象にサッカースクールを運営しています。サッカーを通して人生を豊かに、をテーマに、①自立心を持ち成長意欲がありコミュニケーション能力が高い心身ともに健康で逞しい人材を育成する、サッカースクールです。	中学時代、サッカーでは補欠で、個人知り合いのいなかった土地で、サッカースクールをやっていた。高校と大学までずっと練習で頑張って、4年生や5年生へ自分探し？私でしたが、結果的には英語にまで少し関わってきました。人と通うと、自分は自分で大丈夫ということだ、この言葉をお伝えできればと思います。	電源ホワイトボードプロジェクトスクリーン
9		山根 祐作	ヤマネ ユウサク	THE COACH ザーコーチ	夢や理想の実現に向けてクライアントさんと面談やコーチングを行います。夢実現に必要な絶対条件(考え方やマインド、周りとの人間関係構築方法など)をお伝えしてサポートをするお仕事です。	未来は予約できる！みなさん一人ひとりに必ず自分の理想(在りたい姿)があると思います。それを実現する為には、みなさんが理想としている大人たちに共通している絶対条件を知ることが大事です！今回はこの絶対条件をみなさんにお伝えします！	電源
10		與那城 将	ヨナシロ ショウ	株式会社リンクス	介護事業をメインとした会社経営をしています。事業規模として年商12億・職員数200名、主に事業社大規模と職員員の成長プログラム/マインド/コミュニケーション力/実行力)の総責任者をしています	医療等も忙しくて、誰でも就職出来る仕事、かたがため自分で自分しか出来ない事を楽しく探求して成長していく事が仕事だと私は考えています。大きな可能性を秘めている『仕事』の一つが「介護職」です。その魅力をお伝え出来れば幸いです。	ホワイトボード
11		CHINさんババ	チンサンババ	歌のお父さん 家族オンラインサロン toto's	LIVE・楽曲提供 コミュニティ運営・イベント企画 保育園・幼稚園向けレコーディング体験事業	25歳で歌手として全国デビューしましたが、結婚、出産を機に保育士に転職しました。お父さんになって、子供と一緒に歌が好きでいられるのが、歌者としての活動や、未来の子供たちに残せる【体験】事業を33歳から起業し、再スタートしました。どんな状況でも自分のために生きることを大切に伝えられたらと思っています！	ホワイトボード
12		小山 幹太	コヤマ シンタカ	株式会社 茶藝	創業72年木質系建築資材販売業(特に会館類)をしております。現在は一般社団法人沖縄県木材協会理事も務めています。	仕事を一善大切にしていることは、数ある同業者の中からお客様に選ばれたことと考えています。木材販売業の中でお客様に一番喜んでもらう必要があると考えています。木材現場サンプルをお見せして、お客様のニーズに合わせた提案をさせていただきます。木の個性や魅力、木の良さを言葉で伝えるには、自分自身も木に近づいてみる必要があります。自分自身も木に近づいてみる必要があります。自分自身も木に近づいてみる必要があります。自分自身も木に近づいてみる必要があります。	なし

※小山氏は登壇キャンセル



## 5. メインイベント

日時:2024年3月15日(金) 13:35~15:15

場所:沖縄県立北部農林高等学校体育館 対象:1年生(116名)2年生(121名)

司会:セイヤー麻美

### (1)概要

5、6校時の授業時間を活用し、体育館にてドリスカッ！イベントを行った。

#### ① 第1部 ピッチイベント

第1部はライブ会場のような音響・照明の演出のもと、様々な分野で活躍する「かっこいい大人」の姿を生徒に見せることで、生徒の視野の拡大と、仕事や生き方に対する新たな気付きやきっかけを与えることを目的に、11人の講師が1人2分間のプレゼンテーションを行った。運営面においては、生徒実行委員が司会・音響・照明・PC操作・タイムキーパー・カメラ等それぞれの役割をサポートし共にイベントを作り上げた。



#### ② 第2部 グループワーク

1人の講師につき15~30人程度の生徒が参加し、生徒実行委員によるファシリテーターが進行のもと、講師と直接対話を行った。生徒が仕事をリアルに感じられるよう、実演形式やスライドを使用したプレゼンテーション方式、生徒と向かい合って対話を行う等、講師によって特色あるグループワークを行った。



(2) 生徒実行委員の様子、全体写真





## 6. アンケート

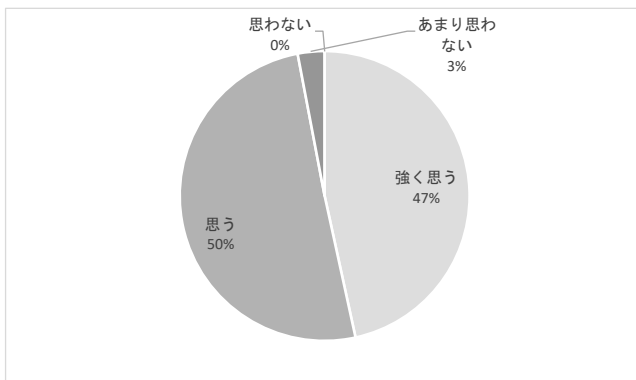
生徒向けにドリスカッ！イベントの事前事後のアンケート調査を実施した。

事前にキャリア教育において求めている内容についての調査を行い、事後アンケートにて当イベントの満足度と意識の変化について検証した。

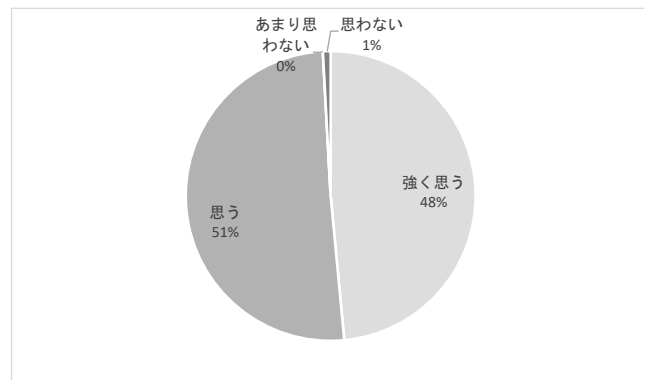
### (1) 生徒アンケート

問 1. 進路を決める時、経験者やプロから直接学んだり意見を聞くことは大切だと思いますか？

事前

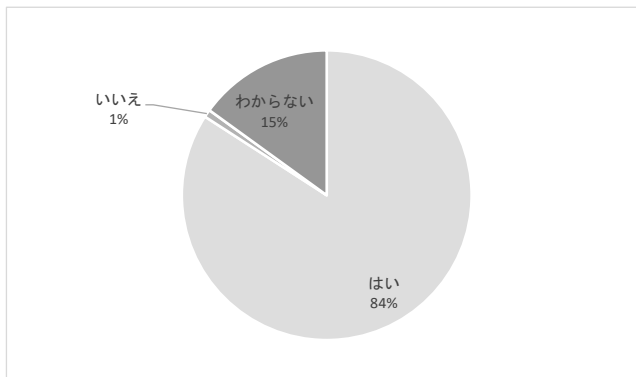


事後

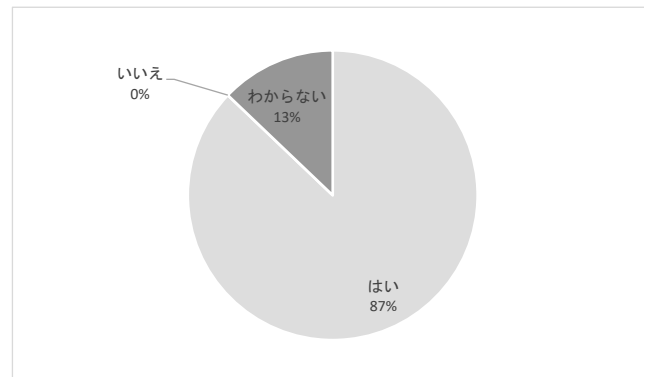


問 2. 自分の将来について相談できる大人は必要だと思いますか？

事前

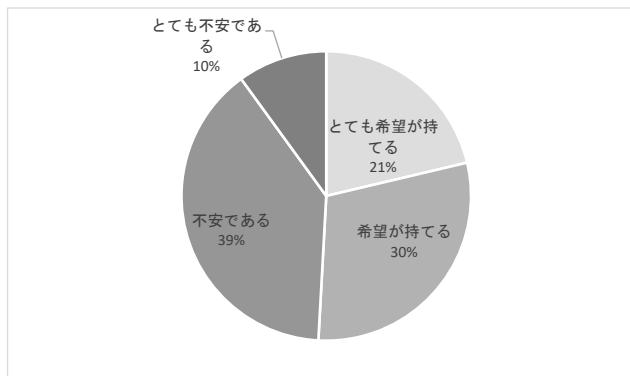


事後

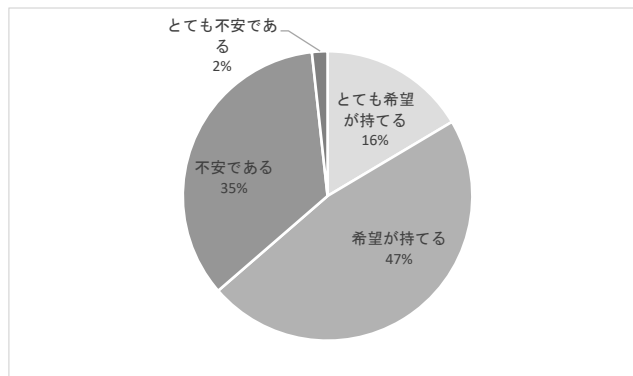


問 3. 自分の将来について、どのように感じていますか？

事前

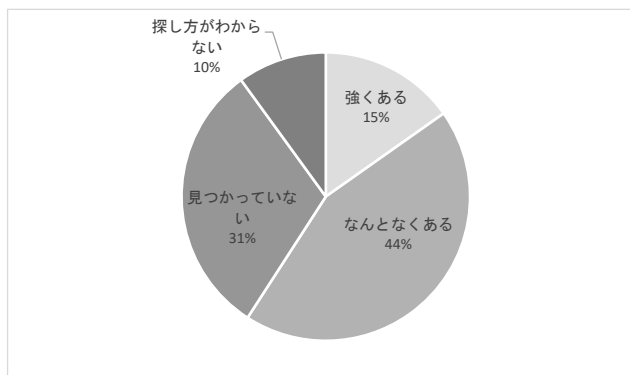


事後

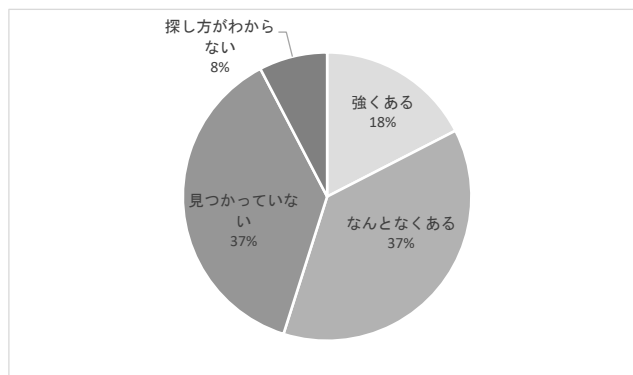


問 4. 将来のロールモデル(あこがれや目標としている人物像)はありますか？

事前

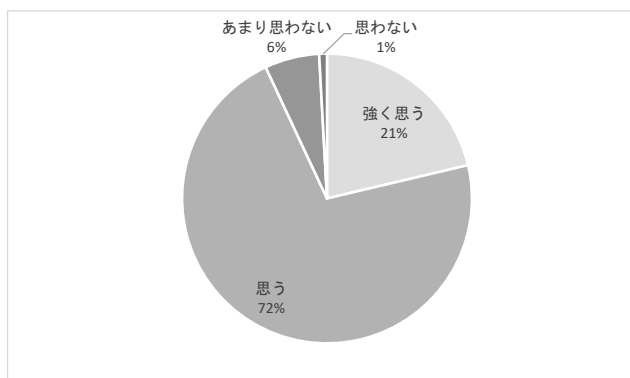


事後

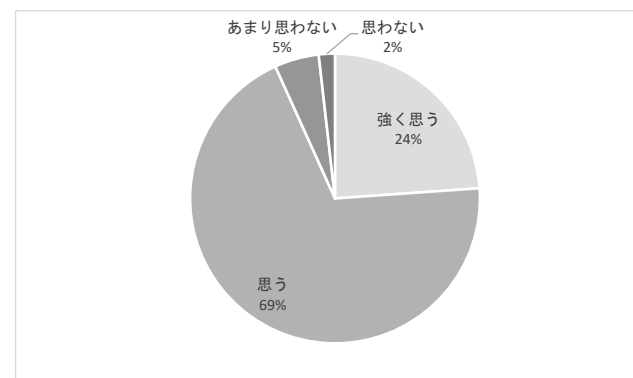


問 5. 仕事とは社会に貢献するためのものだと思いますか？

事前

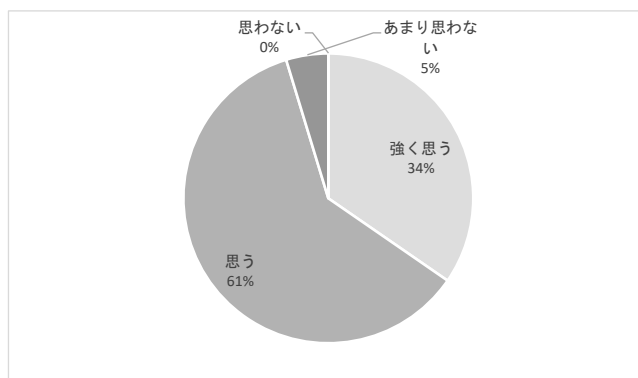


事後



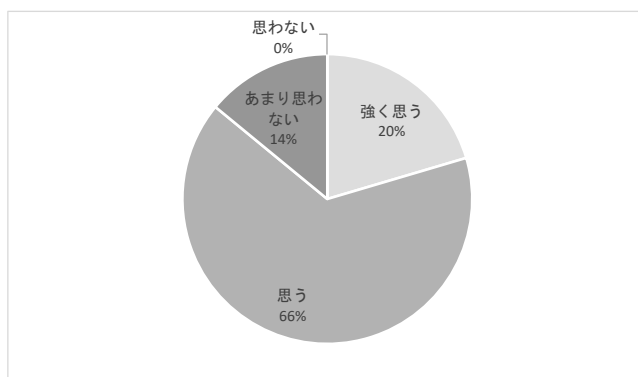
授業(ドリスカッ!)は将来役立つ内容だと思えますか？

事後のみ



授業(ドリスカッ!)は今後何か行動を起こすキッカケになりそうですか？

事後のみ



(2) アンケート記述

講師からのコメント

生徒たちの純粋な気持ちが伝わりましたし、職員とスタッフが協力して場を作っていて素晴らしいと感じました。多様な方々が講師として参加しており、高校生がキャリアを考える上で大変参考になるのではと感じました。

大人しい子が多かったが、終了後質問に来てくれる子がいて嬉しかった。もう少し時間があれば打ち解けられたかなと感じた。今回初めて参加させていただきましたが、高校生の時から先生以外の大人と交流する場があるのはとても良い機会だなと感じました。またドリスカ！運営陣、講師陣の熱量がとても高く、参加した高校生だけでなく自分にも大きな刺激になりました。

興味を持ってくれたかなと心配でしたが、付箋にメモしてある内容を見て意外とちゃんと聞いてくれたんだなと実感しました。1人、講義後に「親に進路を反対されている」と相談がありました。いい意味で常識を覆す大人たちが登壇するこの機会が子どもたちのモデルケースになってくれたら良いなと改めて感じました！

自分の将来像をイメージできている生徒は多くはないと思うが、興味のある事にはしっかり耳を傾ける好奇心があるので、挑戦することを忘れないでほしい。



## 8. 総括

昨年度に続いて北部農林高等学校ドリスカッ！ at Campus2 回目を開催した。今年は1学年（116名）に加えて2学年（121名）と対象を広げることができた。年度の初期から担当の進路大城先生と打ち合わせを重ね、学校の要望と事務局からの提案、また講師の状況や意向をすり合わせて講師選定をした。今回は昨年度登壇者4名、新規7名、その内OBOG3名という構成で合計11名が参加。その結果、生徒満足度も高くアンケートより“初めてドリスカに参加してみて知れていないことを講師の人に色々話してもらったり、質問したりしたら答えてくれて分からないところも教えてくれて分かりやすかったです。来年は違うところの講師の話聞いてみたいです。”“いろんな大人の方の体験などを聞けて私もいろんな経験を積みたいと思いました。”“分かれ道がある時は自分の好きなことをしたらいいとわかった。”“自分の意見、行動することが大切だと思った”“やりたい仕事についていろんなことを学べて、夢に少し近づいたきがしました！”などの回答があり、ドリスカッ！を通し多くの生徒が進路を見つけ出すきっかけとなった。

また今年度も、生徒が主体となる実行委員を設け、外部講師を招き事前学習を実施。当日は実行員生徒が、司会、音響・照明・PC操作・タイムキーパー、写真撮影などの役割を経験することができた。またデザイナーと作成したポスターを掲示し校内を盛り上げた。

生徒アンケート結果より、「今日の授業（ドリスカッ！）は将来役立つ内容だと思いますか」の問いに対し、「強く思う・思う」と答えた生徒が95%となり昨年度よりさらに4%UPした結果となった。また「授業（ドリスカッ！）は今後何か行動を起こすキッカケになりそうですか」の問いに対し、「強く思う・思う」と答えた生徒が86%と高い値となり生徒達にとってドリスカッ！の授業は必要性が高いと感じた。また、事前・事後アンケートで効果測定の結果「自分の将来について、どのように感じていますか？」という問いに対して事前では「希望：不安=51%：49%」、事後では「希望：不安=63%：37%」となり、多くの生徒が将来への希望を見出すことができたことも嬉しく思う。

今回2年連続開催に伴い学校内での理解も深めていただき運営もスムーズに行うことができた。先生方からも「生徒が役割を持ち、運営に係わっていることが良かった。仕事をしている大人の生き様について聞くことができ、参考になったと思います。」「同窓の講師の方もいたので、身近に感じることもできたと思います。高校卒業後の進路について、想像することができたので良かったです。」「生徒が司会や、運営に係わることで、良い経験になり自信に繋がったと思います。ありがとうございました」との声をいただいた。これからも関係各者の意見を取り入れ、より良い企画に改善していき、様々な大人と生徒が直接関わり多数の職業・生き方の情報得ることで早期のキャリア形成に繋がるよう、イベントを継続開催していきたい。末筆となるがこの度の学校のご協力に心から感謝申し上げたい。